

浅川地区住民自治協議会だより

浅 せせらぎ

みんなで創る 元気な浅川！

第 65 号

発行日 平成30年11月30日

発行人 山 田 潤

「浅川地区まちづくり計画」着々と進む！

「まちづくり計画」の主要な実践項目として始まった浅川ダム周辺整備が着々と進められています。浅川地区まちづくり計画推進委員会において、今年ダム周辺整備を主体的に担う団体として「チーム・フロンティア浅川」が発足、地区の有志ボランティアの協力を得て草刈り、植栽、遊歩道整備等の活動を続けてきました。併せて住民自治協議会、浅川改良事務所、浅川支所では浅川ダム利活用懇談会を設けて、浅川ダムを中心とした地域活性化の取り組みに力を注いでいます。

今号ではその活動の中から浅川ダム天端や浅川河川敷遊歩道での活動を紹介します。

<フジバカマ植栽整備～アサギマダラの飛来も始まる～>



【七二会から苗を購入しました】

フジバカマを植え付けたダム天端は10月10日に開催された浅川ダム利活用懇談会で「浅川ダム・フジバカマ苑」と名付けられました。浅川地区を始めとして多くの長野市民が訪れ憩う場所になればと願っています。

希少種蝶アサギマダラが舞う浅川ダムにしようと、今年5月「まちづくり委員会」有志とボランティアの皆さんがノー瀬橋下左岸のダム天端約30aにフジバカマを植え付けました。フジバカマの苗は七二会の塩荒廃地防止美化組合から200株購入したものです。

9月にはチラホラと花を付け始め、下旬にはアサギマダラの飛来も確認されました。



【みんなでフジバカマを植え付けました！】



【華麗に舞うアサギマダラ～浅川ダム・フジバカマ苑（10月2日・3日撮影）】



【ボランティアのみなさんお疲れ様でした】

<菜の花の種を播きました！～来春には一面の菜の花畑に～>

フジバカマを植え付けた天端の対岸（ダム右岸）では、9月9日有志ボランティア30名余が草刈りを行い菜の花の種を播きました。来春には一面の黄色い菜の花畑が出現し、ダムを訪れた人々を楽しませることでしょう。



【草ぼうぼうの天端の草刈り、菜の花の種を播きました！】

<花モモの植樹を行いました！～浅川河川敷遊歩道に～>

28年度から整備を始めた浅川河川敷遊歩道では花モモの苗木を植えました。先進地の南信泰阜村などの視察を経てようやく念願の植樹を行ったものです。遊歩道を歩く皆さんの目を花モモの白・赤・ピンクの花が彩り楽しませる日も近いことでしょう。



【花モモの植栽、力を合わせて植え付けました！】

浅川ダムでは今年初めて鯉のぼりを掲揚したり、浅川河川敷ではホタル観賞会を行ったりと活発な取り組みが始まっています。来年に向けてさらにブランド薬師遊歩道の整備などを進めていく計画です。区民のみなさんの一層のご理解とご協力をお願いします。

地域おこし協力隊着任する！～浅川地区では初めて～

10月1日に浅川地区では初めての地域おこし協力隊員、^{そうひろみつ}宋裕光さんが着任しました。

宋さんは東京都内のレストランでソムリエとして10年間勤務。2009年から3年間、海外（イタリア、フィジー、オーストラリア、ニュージーランド）で暮らしながらワインの産地を訪ねました。オーストラリアには2年間滞在し、ぶどう栽培・ワイン醸造に関わる中で、新天地で自らワイン用ぶどうを栽培するという新たな夢に挑戦しようと、長野市の「地域おこし協力隊」に応募、採用されました。

9月下旬、奥さんと2歳の息子さんと共に伺去の新居に引っ越して来ました。ご家族ともどもできるだけ早く溶け込み、地域に新しい風を吹き込んでくれることを期待しています。浅川地区のみなさんの温かいご理解とご支援をお願いします。

<宋さんからのメッセージ>

豊かな自然、恵まれた気候、果物、野菜、米、水、ワイン、日本酒など数えたら切りのない魅力溢れる長野。長野駅から5kmという暮らしやすい環境ながら、美しい里山の風景が広がるここ浅川地区で、近い将来美味しいブドウが実り、美味しいワインが作れるように、長野の魅力をさらに深めて発信できるように精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



浅川地区防災訓練行われる～浅川地区災害対策本部～

9月29日（土）大型で強い台風24号の接近で小雨が降る中、区民140名余が参加して浅川地区防災訓練が実施されました。

朝7時30分震度6強の地震が発生したという想定の下、各区の区長（自主防災会長）はまず電話で支所に被災状況第1報を伝え避難を開始、防災対策本部長（住民自治協議会長）以下、第1次配備の班長らは9時までに防災対策本部を立ち上げ、避難してきた各区からの被災状況第2報を情報班に集める情報伝達訓練を行いました。雨の心配があったため開始式を15分早め、9時から訓練に入りました。

最初に消防団浅川分団のみなさんにより今年導入された新しいポンプ車による放水の披露が行われました。続いて参加者が3班に分かれ（A）煙体験・消火器操作訓練、（B）浄水器使用・土のう積み訓練、（C）AED操作訓練をローテーションで実施しました。

煙体験訓練では先が全く見えないテントの中で迷う方もいたり、今年初めて実施した土のう積み訓練においては、土のうの予想以上の重さに驚くなど新鮮な体験訓練となりました。

また日赤奉仕団ほか救急救護班のみなさんによる炊出し訓練も並行して行われ、出来上がったハイゼックスによるご飯は参加者に配布されました。

心配された空模様も小降りのまま、何とか11時過ぎには計画通り訓練を終えることができました。

北海道における地震や大型の台風が連続して日本を襲うような中で、日頃からの非常時に対する想像力と心構えが必要だと改めて考えさせられた一日となりました。



【新しく浅川分団に導入されたポンプ車～当日、消防団による放水披露が行われました】



【煙の中を右往左往！？】



【浄水器の使用は難しい】



【想像以上に重かった！土のう積み】



【救護の基本～AED操作訓練】



【炊出し訓練～ガスバーナーが壊れて大変でした】



【小雨の中の終了式】

第38回「浅川ゆうわ祭」開催される！

11月4日（日）抜けるような蒼天の下、ゆうわ祭が開催されました。昭和56年に“文化祭”として浅川区民の交流と活性化を目指して第1回が開催され、平成10年第10回から「浅川ゆうわ祭」と名前を変えて以降、途切れることなく今年で38回を迎えました。

ステージでは浅川小学校金管バンドの演奏で幕が開きました。今年はステージが終了した後も観客が外売りの催しを楽しめるよう演目数を16に絞りました。

展示コーナーでは陶芸品、手芸品、写真、パッチワーク等、趣味の域を超えた力作が揃いました。公民館ロビーでは長野市市民窓口課の「マイナンバーカードの申請窓口」が設けられ“この際に申請を”という人たちが100人超が申請を行いました。



【浅川小学校金管バンドで開幕】



○ステージ

【みなさんの熱演に会場がわきました！】



【恒例の餅つき～大好評です！】



○展示コーナー

【力作が並びました！】



○外会場

【大混雑の外会場】

外会場には例年通り各地区・団体の趣向を凝らした販売コーナーが並び、威勢の良い掛け声に今年も行列ができる繁盛ぶりで、祭りをどんどん盛り上げます。SBCの報道も入りまさに祭りのスローガンどおり“お祭りパワーで地域力アップ”をアピールした一日でした。

（教育文化部会・地区公民館連合会）

平成30年度浅川地区戦没者追悼式挙行される

10月6日（土）戦没者御遺族、来賓、区民等57名が参列して、平成30年度浅川地区戦没者追悼式が行われました。式では列席者黙祷、君が代斉唱に続いて、山田実行委員長の式辞、埋橋県議、松木・寺沢市議、竹元遺族会長、横山浅川支所長の追悼の言葉が慰霊に捧げられました。今年の追悼の言葉では、戦後日本の安全と平和の支えとなってきた憲法第9条について、国民世論の多くの声に反して改定を急ごうとする動きへの懸念が色濃く表明されたのが印象的でした。

遺族会員の高齢化が進み浅川地区の会員も31名と減少の一途を辿る中、改めて戦争の惨禍を思い起こし、唯一の被爆国としての我が国の果たす役割を改めて自覚することが、一国主義が拡大しつつある世界の中において、残された私たちの意味ある貢献の仕方ではないかと強く感じました。



【黙祷】



【竹元遺族会長“追悼のことば”】



【献花】



【遺族会、来賓のみなさん】

「神楽橋区」

念願の集会所が完成しました！



【新設された神楽橋区集会所】

神楽橋区では区民の念願だった集会所が竣工、10月8日集会所落成祝賀会が行われました。平成13年に神楽橋ニュープラン21委員会において集会所建て替えの必要性が提起されて以降、26年には建設構想委員会を設置。

29年には区民投票により建設を決定し、建設委員会を設置して29回の検討を重ねてきました。今年6月に工事着手、9月に竣工しました。

渡辺章区長は「新神楽橋集会所落成を機に、決意を新たにし、神楽橋区の更なる発展と区民の皆様方の真の“憩いの場”、“ふれあいの場”、“絆が深まる場”となるよう今まで以上に有効利用していきたい。」と新しい集会所での活動への期待を語りました。



【落成祝賀会の様子】



【新しい集会所前で文化祭を開催！（11/10）】

今年も「そば」と「えごま」が実りました！

～門沢の遊休農地に～

浅川地区遊休農地活性化委員会では10月16日に「そば」、17日に「えごま」の収穫作業を行いました。「そば」は8月2日に播種、当日戸隠の矢下さんの大型コンバインで半日ほど刈取りを終えました。「えごま」は6月19日植え付け、8月2日に摘芯、当日十数名の委員が小雨混じりの中、手刈りで収穫しました。

今年の「そば」は雑草（アカザ）の繁殖に負けて収穫量が減り、委員のみなさんは播きムラや堆肥の不足など減収の原因を掲げて来年に向けての課題としていました。

収穫した「そば」と「えごま」はJA配送センターで乾燥されたあと11月5日に選別作業を行い、関係先に販売されました。



【「えごま」の刈取り】



【遊休農地活性化委員会のみなさん】



【「そば」の収穫】

共に生きる



認知症サポーター講座

10月5日に豊野のキャラバン・メイト「忘れルンジャーとよの」の方がいらっしゃり、認知症についてわかりやすく寸劇等をして頂きました。

「忘れルンジャーとよの」さんによる劇は、途中舞台から降りて客席にアドリブをふったりして、皆さん楽しく理解を深められたと思います。また、浅川小学校から4年生の児童の皆さんが参加し、認知症について知っている事、知らない事がたくさんあったと思いますが、集中して聞いていました。

ひとり暮らし高齢者のつどい

ひとり暮らし高齢者のつどいに参加して

民生委員児童委員 西澤 喜美子

車窓から見る景色は、紅葉にはまだ早かったけれど、杉林をどんどん山の中に入っていくと、パッと視界が開けた場所に茅葺き屋根の「やきもち家」が現れました。今年も社協の方々に企画して頂いたお陰で、「ひとり暮らし高齢者のつどい」に、日ごろ民生委員として関わらせて頂いている皆様といっしょに参加致しました。

美味しいお昼と温泉。行き帰りに寄った道の駅での買い物。楽しい1日でした。来年も元気にお会いしましょう。



介護者のつどい

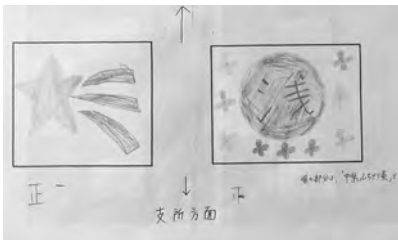
去る10月26日(金)に「介護者のつどい」を開催。

講師に地域包括支援センター「博愛の園」より2名の方にお越しいただき、介護についての情報交換会・会食会を行いました。活発な意見交換が出来、有意義なひと時を過ごすことが出来ました。

秋の花の苗交換会

去る10月29日（月）秋晴れの中、ボランティア養成講座「花の苗交換会」を開催。今年は、春に引き続き浅川小学校「あさかぜ・むつみ」の児童に参加頂きました。

今回は花壇のイラストを考えて頂き、地域のボランティアさん達と一緒に植え付け作業を行いました。園芸を通じ素敵な世代間交流が出来ました。



浅川地区生活支援体制整備事業

地域には、誰にも役割があり、
誰にも出番があります。
安心して住み続けられる「浅川地区」を
みんなで一緒に作りませんか？

理想の地域像

平坦地…「お互い声を掛け合い
やすい地域に」

山間地…「支え合い・助け合いを
継続できる地域」

ゆうわ祭

去る11月4日（日）浅川公民館にて「ゆうわ祭」が盛大に行われました。我が社協も参加し、ボランティアさん制作の「手作り小物」等を販売。

丹精込めて制作し、ご提供いただきました作品はお陰様で完売いたしました。ボランティアの皆さんありがとうございました。

収益は、福祉自動車「ふくちゃん号」の運行資金に充てられます。

ご協力ありがとうございました。



ご家庭で眠っている「鯉のぼり」をご提供ください！

浅川地区まちづくり計画推進委員会では、今年5月に初めての試みとして、市内各地のみなさんから「鯉のぼり」を提供いただき、ボランティアのみなさんの協力を得て浅川ダムサイトに泳がせました。

来年もより多くの「鯉のぼり」を浅川の空に泳がせようと計画しています。みなさんのご家庭で眠っている「鯉のぼり」をご提供いただきたくご協力をお願いします。

(ご提供いただいた鯉のぼりは、住民自治協議会で所有、管理させていただきます。)



【浅川ダムサイトに泳ぐ鯉のぼり (H30. 5)】



【連絡先：住民自治協議会事務局 ☎026-244-5165 (担当：地域活性化推進員・原田)】

その他の主な事業・活動

報告 (10~11月)

- ☆秋のあいさつ運動 (次世代育成部会)10月2日 (火) ~ 5日 (金)
- ☆土木要望現地調査 (区長会)10月11日 (木) ・12日 (金)
- ☆秋の史跡めぐり (市立公民館)10月20日 (土)
- ☆浅川小学校130周年記念式11月17日 (土)

予定 (12~1月)

- ☆第6回浅川地区住民福祉大会 (浅川社会福祉協議会)12月2日 (日)
- ☆しめ縄づくり (地区公民館連合会)12月16日 (日)
- ☆平成31年浅川地区新年祝賀会1月3日 (木)
- ☆8地区公民館合同成人式1月13日 (日)

広報委員から

私は会長に決まった時は正直嫌で仕方がありませんでした。日々の仕事・家事・育児に加えさらに大きな仕事の一つ増える事になるからです。しかも住自協の育成会長なんて絶対無理とと思いました。ここまで役務を終え、あっという間でしたが、やはり大変でした。

けれど、良い事も沢山ありました。今まではよく知らなかった地域の取り組み・またそれに取り組んで下さっている方々の姿も知ることができ、その方々の温かく気さくで優しい人柄を知ることができました。

不慣れな私はそんな温かい皆さんのお力添えの中でここまで無事(?)やってこれました。

私は浅川をより大好きになりました。ここで子供を育てる事ができて本当に良かったと思っています。

広報委員 山川 和 香 (次世代育成部会・育成会会長)